

ねがい実現へ全力!! 子育て、高齢者にあたたかい県政を



8月に行った県政懇談会には20団体が参加。「精神障害者への交通費補助」、「持続可能で多様性のある社会の実現」、「少人数学級の実現」など様々な要望が寄せられました(8月5日)。

保育の無償化 給食おかず代も無料に

幼児教育・保育の「無償化」事業がはじめました。しかし、給食費は、無償化の対象外です。保育園の給食は、食育として保育の一環で、無償化の対象とすべきです。党県議団は、給食副食費の無償化のための支援制度を県に求めました。

私立高校の 学費無償化を!

2020年4月から年収590万円未満世帯は、国が私立高校の授業料を実質「無償化」するとしています。詳細はあきらかになっていません。

党県議団は、国、県に、すべての高校生に対し、授業料とともに、施設整備費、維持費、教育充実費など学費全体を無償化するように求めました。



高齢者の補聴器購入補助 聞こえの総合支援を

高齢難聴者に聞こえ支援を行うことが、認知症対策になることが明らかになっています。党県議団が、昨年12月に提案した補聴器購入補助支援を求める意見書は、全会一致で採択。国とともに、県独自に補聴器購入補助や現物支給などの支援を行うことを求めています。



奨学金返済支援 もっと!

県は、中小企業に対し、従業員の奨学金返済への支援制度を2016年から実施。2018年3月31日までに108社474人が活用しています。

党県議団は、支援額増額や、企業負担軽減、対象法人の拡大などもっと活用しやすい制度へと県に要望しています。

奨学金返済支援制度の内容

県内の中小企業の若年者の確保・定着のため、奨学金返済支援をする中小企業への補助。県補助は、企業負担の1/2で年間最大6万円、最長5年間としている。

中3まで所得制限なしで 子ども医療費無償化を

全県で、35自治体までひろがっている中学三年生までの子ども医療費無償化。県の制度は所得制限があり、いまだに無償化の対象にならない子どもがいます。

党県議団は、県制度の所得制限を撤廃し、中3まで完全無償化を求めています。県単位では、群馬に続き、岩手も来年8月から中3まで医療費無償化に。県が決断すれば可能です。



食育の観点から 中学校給食充実を

全県で運動がひろがり、2022年度には、県内すべての中学校で給食が実施される見通しです。

しかしデリバリー選択方式をとっている神戸市では3割の喫食率。センター方式で準備されている尼崎市、川西市などでは、自校・親子方式への要望が強く述べられています。食育の観点から全員喫食で温かく、おいしい給食になるように引き続き求めていきます。



イノシシ被害対策を

イノシシなどによる農業被害に加え、都市部でも被害が起きています。

環境省によるとイノシシによる人身被害は、2017年度に全国で55件(76人)ですが、そのうち兵庫県は15件で最多となっています。党県議団は、イノシシ出没の実態把握や、効果のある防護柵、餌付け根絶、狩猟マイスター育成策の充実などを求めています。

